

中部教育事務所だより

発行所 群馬県教育委員会事務局
中部教育事務所
発行人 加藤 隆浩
発行日 令和6年6月14日
〒371-0051 前橋市上細井町 2142-1
Tel (027) 232-6511



学びの灯火を燈し続けるために

中部教育事務所長 加藤 隆浩

コロナ禍のため、趣味の一つであった御朱印集めを控えていましたが、今年の4月初め、以前から訪れたかった「龍泉寺（足利市）」を訪れました。この古刹は、比叡山延暦寺に伝わる「不滅の法燈」と、その比叡山から分灯した立石寺（山形県）に伝わる「不滅の法燈」の2つの法燈が安置されている日本で唯一のお寺です。

皆さんは「不滅の法燈」をご存じでしょうか。現在まで1200年以上一度も消えることなく輝き続けている比叡山延暦寺に安置されている灯火です。その灯火を守るため、当番や役割を決めることなく、気づいた人がその都度油を注ぎ、芯を替え、多くの人の手で灯され続けています。一人一人が自分事としてとらえ、灯火を守っているのです。

今回お参りした際、偶然にも住職とお会いすることができ、「なぜ、2つの法燈が安置されているか」という貴重なお話をお聞きすることができました。昔、農繁期に親が子供たちの面倒を見られないことからお寺が子供たちを預かっていたそうです。戦後間もない龍泉寺には、子供の笑顔で溢れていました。そうした中、先々代の住職さんが、子供たちの健全育成のためお寺の境内で、全国に先駆け、いち早くスカウト活動に取り組み始めました。スカウト活動の中には、「行脚」を通して己を見つめ直すことが大切であるという考え方があるそうです。そこで、スカウト活動の一環として、昭和末期の子供たちが、自ら考え、龍泉寺にゆかりのある比叡山延暦寺を目指し行脚することを決め、行動に移しました。週末を使い、700 kmを9年かけて歩きました（前回地点までバスで移動して歩き続けたそうです）。やっとの思いで目的地にたどり着いたとき、当時の延暦寺の高僧から「これまで頑張った君たちの心の灯を燈し続けなさい」と言われ、不滅の法燈を分灯していただいたそうです。その数年後、今度は新たに立石寺までの行脚も計画し、410 kmを9年かけて歩きました。世代交代はあれ、先輩から後輩に受け継がれ、見事に偉業を成し遂げました。苦難の末、手にした2つの不滅の法燈を、今では住職の家族やスカウト団員の皆さんが、自分事としてとらえ、油を注ぎ、芯を替え大事に守り続けています。

さて、いよいよ4月から第4期群馬県教育振興基本計画「群馬県教育ビジョン」が始まりました。誰もが生まれながらに持っている、「エージェンシー＝自分と社会をより良くしようと願う意志や原動力」を発揮して、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」を育てる教育を目指していきます。そのためには、これまで以上に子供を信じて、子供に任せ、主体性を引き出していくことが大切です。これから生きていく人生が予測困難な時代だからこそ、その時その時、自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す。時には、様々な困難な場合も予想されますが、対話を通してよりよい道を探っていくことも貴重な経験になることでしょう。まさに、これからのぐんまの目指す教育は、前述した多難の行脚を行ったスカウトの子供たちの姿と重なります。

最後になりますが、ぐんまの子供たちの心の中に、「自律する学習者」の灯が、生涯を通して消えることなく、灯り続けてくれることを切に願っています。

【学校教育係 人事】

4月から2カ月ほど経ち、新年度の慌ただしさがなくなりつつあると思います。新年度は転任や担当分掌の変化等、職場環境の変化により、なかなか思うような教育活動ができていないという方もいるかと思いますが、特に新規採用教職員や初めて臨時的任用教職員をされる方々は、新たなスタートを切ったばかりで思うような仕事できていない状況はあるかもしれません。

とかく、教職員の皆さんは、責任感も強く、「こんなはずではなかった。」「もっとできるはず。」などと自分自身を追い詰めてしまう傾向があるのではないのでしょうか。そこで提案です。誰も持っている悩みや不安な気持ちを身近な同僚や上司に相談してみるのはいかがでしょうか。自分一人で抱えず、チームで解決できることもあるはずです。

【総務係】

学校教職員の皆様へ

①通勤途中や勤務時間中に、医療機関を受診しなければならない怪我をした場合は、直ちに校長、副校長、教頭等に報告してください。「公務災害」の対象となる場合があります。校内での転倒事故、体育や部活動指導中の事故などが多発しているため、準備運動等、適切に行ってください。

②各種手当の認定要件等に変更があった場合は、必ず事務職員に申し出てください。

【例】転居、家賃の変更、扶養親族の増加（父母の収入減、子の出生等による）、扶養親族の所得増（108,333円超/月）

【学校教育係 指導】

各学校・園におかれましては、ここ数年の社会や環境の変化を機に、子供の学びを充実させるため新たな課題と向き合い、その解決のための様々な工夫に取り組んできたことと思います。また、その取組を検証し教育課程の改善・充実によって、よりよいものを見出したり、あるいは継続してきたよさを再認識したりしたことと思います。

これらの取組に共通することは、そこに笑顔があり、成長を自覚し、次の一步を踏み出そうとする主体的な子供の姿が見られたということではないでしょうか。

上図にエージェンシーを発揮する子供の姿の事例を紹介しましたが、学習や日常生活において同様の子供の姿を見ることができます。試行錯誤し、友達と対話・交流しながら、自分の意志で決断してその学びに手ごたえを感じられた時の子供の笑顔からは、達成感や自信、次に進もうとする力強さが感じられます。このようにして子供一人一人の持つ力が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す、エージェンシーを発揮した姿へとつながるのは、学びのきっかけとなる問題を子供に気付かせ、その力を信じて見守り、自分の力で解決できたと感じさせられるような、先生方の温かい支援があるからだと思えます。

学校教育係の指導担当では子供たちの「知識及び技能(の基礎)」「思考力、判断力、表現力等(の基礎)」「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指し、各学校・園で子供一人一人がエージェンシーを発揮し、子供を主役とした学びの中で成長していけるようサポートさせていただきます。これまで積み重ねてきた取組を継続していただく中で、先生方の思いやよさを大事にしながら子供たちの笑顔と未来のために一緒に考え、お力になればと思います。校・園内研修等への要請や支援・指導に関するご相談等ございましたら、いつでもご連絡ください。よろしくお願いたします。

エージェンシーを発揮する子供の姿 (小学校低学年)

児童の活動場面：創立150周年記念式のオープニングをダンスで盛り上げる教師の投げかけ『お招きしている地域の方に感謝の気持ちを伝えましょう』



【対話・交流】

運動会で先生にダンスを教えてもらったね。今度は自分たちでダンスを考えようよ。感謝の気持ちを込めて地域の方に喜んでほしいな。

【試行錯誤】

手をいっぱい広げたら一年生でも大きく見えるかな？胸を張って腕を斜めに伸ばしたらかっこいいと思わない？みんなでやってみようよ！

【自己決定】

曲に間に合うように移動は駆け足に変えよう。休み時間も練習しよう。楽しくおどろうね。最後の呼びかけはゆっくり大きくしよう。

【達成感】

地域の方が喜んでくれた！楽しかったね。2月に年長さんが来るときもみんなで遊びを考えようよ！

教師は児童の「自分たちでダンスを考えたい！」という自発的な発言をきっかけに、児童の様子を見守りました。地域の方を思って考えた自作のダンスを称賛し、記念式当日は児童と達成感を共有しました。

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！



【生涯学習係】

予測不可能な現代において、地域の将来を担う子供たちの健全育成には、地域と学校が連携・協働していくことが必要不可欠です。そして、子供たちのウェルビーイングを実現するには、大人がエージェンシーを発揮して、学び、成長していかなければなりません。生涯学習係では、あらゆる世代の人々の主体的な学びを支援し、「ひとづくり」「つながりづくり」「地域・まちづくり」を目指します。また、以下のような研修会等をとおして、「学校とともにある地域」「地域とともにある学校」の推進について皆様と一緒に考えてまいります。

(主な主催事業)

(1)家庭教育支援連携推進事業

○日時：10月31日(木)14:30~16:00 ○場所：前橋合同庁舎

○概要：NPO法人「虹色のかさ」より講師を招き、ヤングケアラーの現状と支援についての講義を聴き、参加者同士で、困難を抱える家庭への支援と役割について考えていきます。

(2)地域と学校の連携・協働推進研修会(学校関係者編)

○日時：8月6日(火)13:30~15:30 ○場所：生涯学習センター ※オンラインとの併用

○概要：長野県大町市教育委員会学校教育課指導主事塩原雅由氏を講師に招き、コミュニティ・スクールをとおして学校をデザインしていくことや地域と学校の連携について考えていきます。

(3)地域と学校の連携・協働推進研修会(地域関係者編)

○日時：11月16日(土)14:00~16:00 ○場所：生涯学習センター

○概要：NPO教育支援協会北関東の代表理事井熊ひとみ氏を講師に招き、地域関係者が学校と連携し、地域で子供たちを育むために必要な連携の在り方について考えていきます。

(4)地域と学校の連携・協働推進フォーラム

○日時：12月7日(土)14:00~16:20 ○場所：生涯学習センター

○概要：文部科学省CSマイスター朝倉美由紀氏を講師に招き、学校関係者と地域関係者が一堂に会して、地域と学校の連携について、多様な視点で考えていきます。



令和5年度「親子自然体験教室」より